

# 滋賀いのちの電話

題字 大川匡子理事長 書

## 滋賀いのちの電話 1 周年によせて

滋賀県知事 嘉田由紀子

滋賀いのちの電話が開設 1 周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

我が国の自殺者数は、平成に入り 2 万人前後で推移してきましたが、平成 10 年に 3 万人を超え、その後も 3 万人前後の水準が続いています。県でも残念ながら、平成 10 年以降は毎年 300 人前後の方が亡くなっておられます。自殺者の増加は今では、人々の大きな関心事となるほど、深刻な状況にあります。

このような背景の中、平成 18 年 10 月に自殺対策基本法が制定され、自殺対策に関する法整備が行われ、また、平成 20 年 10 月には自殺対策加速化プランが定められました。平成 21 年 12 月には、自殺対策 100 日プランが示されるなど、国を挙げての取組が行われています。

「滋賀いのちの電話」におかれては、開設準備委員会の設立や電話相談員養成講座に取り組まれ、平成 20 年 8 月に、電話相談「いのちの電話」が開局、平成 21 年 4 月には、滋賀で初の養成を修了された方が相談員となられ、その後、死にたいほどつらい気持ちを抱えた方々の心の支えとなる活動を続けておられます。当初は週 1 回の相談日でしたが、フリーダイヤルの設置や相談日の増加、回線の増設等のご努力もあり、相談件数は増加し、その中では、切迫した内容の相談も増えてきていると伺っております。



この取組は、電話で困りごとの一つひとつに丁寧に対応していただく相談員の皆様の温かい声と気持ちがあってこそ成り立つものです。相談にあたっている方々は、2 年に及ぶ講座を修了され、さらに自ら研鑽を重ねられた上に、活動はすべてボランティアであるなど、皆様の熱意とご苦勞には心から感謝申し上げます。滋賀県でも、全国と同様に自殺者の増加にどのように対応していくのか、検討を進めています。その中でも「滋賀いのちの電話」の皆様の活動には大きな期待を寄せており、連携協働を進めながら更なる活動の拡充に向け、支援をさせていただきたいと考えております。

今後とも「いのちの電話」の取組がきっかけになり、「心の危機にさらされている方々への支援」の輪が県内に大きく広がりますことを祈念しまして、1 周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

# 新たに踏み出す一歩

大川匡子

多くの皆様に支えられ、2006年に設立準備会、2008年8月に滋賀いのちの電話を開局し、早や3年が過ぎました。現在は第1期、第2期電話相談員がさまざまな電話相談に応じ、相談員としての役割に就いています。現在のところ金曜日と週末の限られた時間内での対応ですが、最近相談件数もかなり増加しております。その理由は滋賀いのちの電話が皆さんに認知されるようになったことと、やはり自殺者がなかなか減らないことがあげられます。特に最近の社会・経済情勢が一方向に改善されないことも大きな一因となっています。多くの人々が社会生活、家族生活でその絆が失われていくことを感じています。いのちの電話の件数増加はそのような人々が増加していることとも関係しているのでしょうか。

さて、「滋賀いのちの電話」の相談員は1期生12名、2期生8名で始まりましたが、2009年9月に開講された第3期相談員養成講座には26名の研修生が参加しており、一挙に大

所帯になりました。2009年1月には特定営利活動法人としての資格を取得し、9月からはさまざまな委員会を設けて社会的な活動を開始しております。滋賀県においても自殺対策の問題が大きく取り上げられ、防止対策に力を入れております。滋賀いのちの電話はその一環であり、活動を期待されていきます。いのちの電話の成果をどのように評価すればよいでしょうか。これはとても難しいことです。電話の内容は非公開であり、電話相談を受けたことが自殺防止に役立ったのでしょうか。それは誰にもわかりません。電話をかけてきた方が、ありがとう、話して楽になりました。と言って切つて下さることです。このことでの継続が自殺防止ばかりではなくヒトの絆を強くしていくことにもなるでしょう。滋賀いのちの電話の新たな一歩としてのスタートのために、ボランティア活動として一人でも多く電話相談員となつていただくことと、ボランティア団体としての活動を支えるた

めの資金援助をお願いしたいと思います。本年、私もボランティア理事長として頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

(滋賀いのちの電話 理事長)

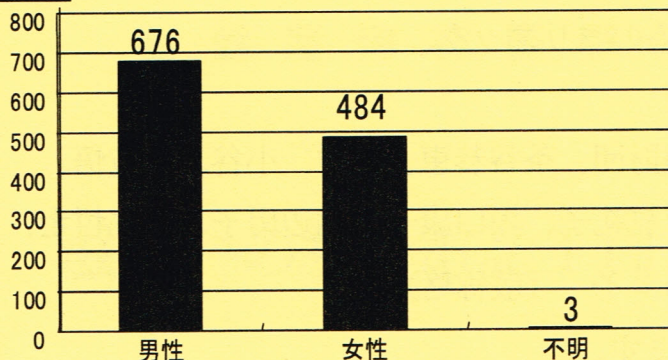


# 電話相談件数について

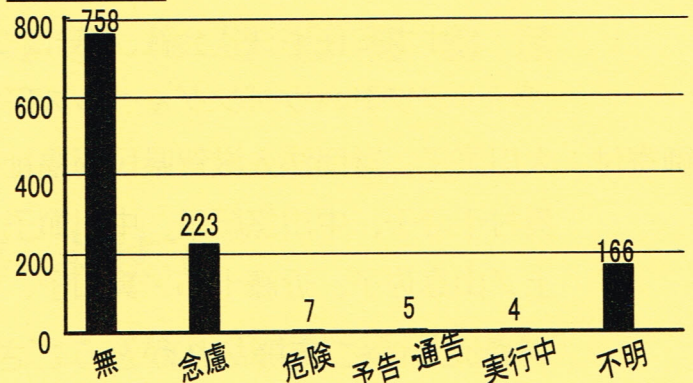
2009年の1年間の受信件数及びその分析について下記のように報告します

## 受信件数 有効総受信件数は、1163件

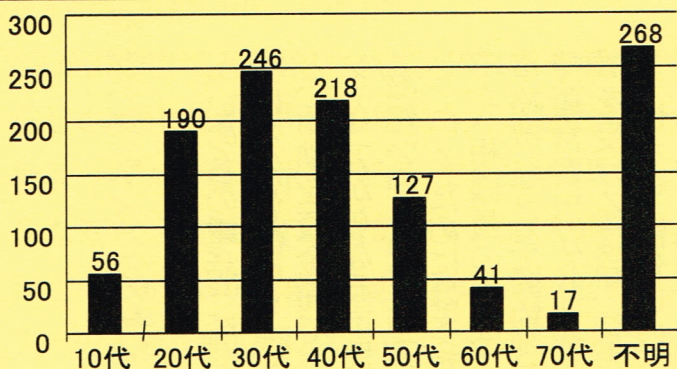
### 性別



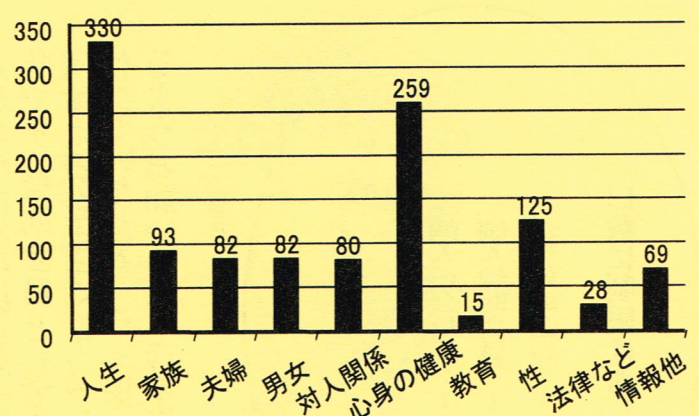
### 自殺志向



### 年齢年代



### 中心問題



## 事務局日誌（2009年6月～12月）

6月5日 日本いのちの電話総会出席  
 6月6日 1期生継続研修  
 6月13日 第1回理事会、総会開催  
 6月14日 2期生養成講座  
 6月20日 フリーダイヤル研修  
 6月28日 2期生養成講座  
 7月4日 スタッフ会議  
 7月4日 1期生継続研修  
 7月5日 心の健康フェスタ 参加 大津市民会館  
 7月10日 フリーダイヤル受信 開始 : 20時間  
 7月12日 2期生養成講座  
 7月26日 2期生養成講座  
 8月1日 スタッフ会議  
 8月1日 1期生継続研修  
 8月2日 2期生実習開始  
 8月10日 フリーダイヤル受信 : 20時間  
 8月10日 3期生応募締切 応募者 33名  
 8月24日 理事長による規則承認  
 8月30日 3期生 応募者の面接  
 9月2日 定款変更認証  
 9月4,5日 金・土曜日受信開始 18時から22時  
 9月5日 1期生継続研修  
 9月5日 第34回日本自殺予防シンポ  
 9月6日 日曜日受信 受信時間: 14時から22時に  
 9月10日 自殺予防早朝街頭啓発 県  
 JR 大津, 今津, 草津, 近江八幡駅前  
 9月10日 フリーダイヤル受信 : 20時間

9月12日 運営委員会(組織・委員長・委員決定)  
 9月13日 3期生養成講座 開講  
 9月18,19日 日本いのちの電話連盟主催事務局長会議: 仙台  
 9月19日 2期生研修(実習)  
 9月27日 3期生養成講座  
 10月3日 運営委員会・1期生継続研修  
 10月8,9日 日本いのちの電話連盟主催研修担当者: 札幌  
 10月10日 フリーダイヤル受信 : 20時間  
 10月11日 3期生養成講座  
 10月17日 2期生研修(実習)  
 10月18日 研修委員会  
 10月25日 3期生養成講座  
 10月30日 比叡山延暦寺長 舘 小林隆彰師 面会  
 11月7日 1期生継続研修  
 11月7,8日 3期生養成講座一泊研修 近江八幡国民休暇村  
 11月10日 フリーダイヤル受信: 20時間  
 11月14日 運営委員会  
 11月21日 2期生研修(実習)  
 11月21日 相談活動委員会開催  
 11月22日 3期生養成講座  
 11月22,23日 第27回いのちの電話相談員全国研修: 和歌山  
 12月5日 運営委員会  
 12月5日 1期生継続研修  
 12月10日 フリーダイヤル受信 : 12時間  
 12月13日 3期生養成講座  
 12月19日 2期生研修(実習)

滋賀いのちの電話の支援いただいている方々

個人正会員：25 名

個人賛助会員：12 名

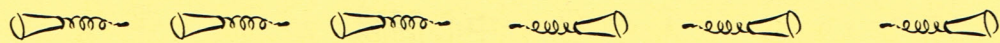
団体賛助会員：財団法人滋賀県民間福祉振興財団、医療法人碧水会、

オウミ住宅株式会社、 守山こころのクリニック、

ソフトハウジング&ヘルス研究所

御寄付：大川匡子、財団法人滋賀県民間福祉振興財団、茶谷恭恵、木村、小谷、藤波悟、  
奥村千寿子、中川悠紀子、中川節子、重村礼子、坂口康一、渡辺房子、辻本哲士、  
上ノ山真佐子、近藤十郎・真知子、匿名 2 名 （敬称略）

あたたかいご支援ありがとうございます。



資金ボランティアへの参加を！

「いのちの電話」活動は電話相談を受ける無報酬のボランティア相談員と、活動を資金面で支える資金ボランティアからなる市民運動です。

「滋賀いのちの電話」を継続して運営していくためには多額の資金が必要です。相談員の養成・研修費、広報・事務費など年間約300万円の維持運営費用が必要です。滋賀県の助成を受けるほか、特定の資金源をもつていない「滋賀いのちの電話」は、ほとんどの活動資金を団体・企業・個人からのご寄付に頼っているのが現状です。賛助会員として多くの方や団体に資金ボランティアとしてかわっていただき、ご支援して下さるようお願い申し上げます。

会員になつて下さい

年会費

|        |    |     |
|--------|----|-----|
| 個人正会員  | 1口 | 3千円 |
| 個人賛助会員 | 1口 | 3千円 |
| 企業賛助会員 | 1口 | 3千円 |

（口数に制限はありません）

お振込みは下記をご利用下さい

広報活動報告

6月17日 中日新聞取材（6月19日掲載）  
6月21日 産経新聞取材  
6月23日 読売新聞取材（6月27日掲載）  
7月10日 朝日新聞取材（7月11日掲載）  
7月23日 朝日新聞 aiai に掲載  
8月13日 毎日新聞取材  
8月31日 びわこ放送 取材（9月5日放映）  
9月5日 読売新聞取材  
9月9日 えふえむ草津 11時から約20分間  
大川理事長、古蔵 生出演  
9月9日 朝日新聞取材（9月10日掲載）  
10月10日 毎日新聞取材  
12月10日 京都新聞取材（12月31日に掲載）

○郵便振替 00940-8-300160

○銀行振込 滋賀銀行 瀬田駅前支店

普通 251748

○振込先 特定非営利活動法人 滋賀いのちの電話

編集後記

滋賀いのちの電話に係わるようになって、まだ一年も経っていませんが、私にも何かお役に立てるようなことが有るかもしれないと思います、現在広報委員長をさせて頂いております。広報の原稿集めをして、発行にたり着くまでは、会員の皆様や関係者に大変ご尽力頂きました。本当に有り難うございました。滋賀いのちの電話がこれから多くの方々に救えるように私も微力ながら頑張りたいと思います。この広報を目にしていたら、現在、いやこれから先に、もしも自殺したいなどと頭によぎったときは、電話して下さい。きっと気持ち楽になると思います。

（森田礼子）